

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル川口峯（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや保護者のニーズ、課題等を管理者、児童発達支援管理責任者をはじめとするスタッフ全員で共有したうえで個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。	児童の発達や特性に応じた個別的な課題について、支援方法などを職員間で検討、共有をしたうえで支援を行っている。	職員間での情報共有をより密に行い、児童の小さな変化等を見逃さない体制づくりを行っている。
2	療育スペースの整理整頓に努め、子どもにとって安全な環境を提供している。	生活空間の整理整頓や清掃に努め、心地よく過ごせる環境作りを行っている。また、児童の活動に適した配置等を行っている。	ヒヤリハット報告などを活用し、環境整備についてより安心安全に配慮した配置や、危険個所の発見に努めていく。
3	日頃から児童の状況を保護者と伝え合い、児童の健康や発達の状況について共通理解ができています。	送迎時の引き渡しの際や、連絡帳を通して児童の状況等を保護者へ伝達している。	保護者との関係をより強化し、保護者の悩みやニーズなどを確認していき、児童の支援へと繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	意図的に地域や他のこどもと関わるような企画等が少なく、事業所内で行う活動が多くあるため。	地域のイベントに積極的に参加することや、地域を巻き込んだ活動を企画し、周知していくことが必要であると感じる。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等少ない。	家族向けの研修会や情報提供の場が少なく、保護者に認知してもらい機会があまりないため。	保護者会などを利用し事業所で出来るペアレントトレーニングの情報提供を行うことや、ペアレントカフェなどの開催があった際の案内を積極的に行っていく。
3	保護者同士の交流の機会を十分に提供できていない。	保護者会やきょうだい向けイベントの内容が定まっておらず、頻度も多くないため、保護者へ浸透していないため。	定期的に保護者会やきょうだい向けイベントを企画・実施し、保護者へ案内をすることで周知を図っていく。